



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# プラス株式会社 —アスクル事業—

5

「なんと商品数2750アイテム、オフィス用品が何でも揃います。  
事務用品はもちろん、OA・PC用品から  
コーヒー・おやつまで品数もバリエーションも豊富です。」

10

「全商品が、驚きのお買い得価格！  
午後1時までにご注文になると、翌日にはもうお届け。」

15

「ご利用者数NO.1。信頼のBusiness to Business（事務所向け  
オフィス用品）サービスです。入会料・会費一切無料の会員制です。」

「機能的で、おトクで、だからこそ優しいオフィスづくりの  
お役に立つサービス それが、アスクル。」

20

(インターネットASKULホームページより)

文具業界の中堅、プラス株式会社が業界に先駆けてこの新規事業を開始したのが93年。順調に業績は伸び、年間売り上げは初年度2億円、以降6億、19億、56億、今年度は100億を予定している。一事業部としてスタートしたアスクルが「新しい業態、全く新しい流通業」としてこの5月には子会社としてプラスから分離独立する運びとなった。

25

今後は株式公開を目指すと言う。

30

---

本ケースはクラス討議の資料するために慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授の千本伸生が(株)イナクトの高山信彦、MBA学生小島弘嗣の協力のもとに公表データおよび取材によって作成したものである。(1997年7月作成) よって特定の経営管理上の適切あるいは不適切な状況を例示しようとするものでない。